

平成31年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒一人ひとりの確かな学力の育成と進路希望の実現に向け、学年制普通科としての教育課程の整備に取り組む。</p> <p>②生徒の課題発見・解決力及び、主体的に学ぶ意欲を高めることを目指し、組織的な授業改善に取り組む。</p>	<p>①次期学習指導要領実施に向け、学力向上と進路希望の実現に向けた教育課程編成を検討する。</p> <p>②授業改善を進め、生徒の学習意欲を高め、主体的に学習する生徒を育成する。</p>	<p>①(1)教育課程の変更に伴い、生徒の適切な科目選択を支援するとともに、学力向上のための授業時間確保と授業内容の充実を図る。</p> <p>(2)カリキュラム検討会において「高大接続テスト」導入に向けた研究を進めるとともに、新教育課程の基本方針を策定する。</p> <p>②(1)授業開始の挨拶を励行し、チャイムと同時に集中した授業を開始する。</p> <p>(2)教員相互の授業参観・研修会の実施と「生徒による授業評価」の有効活用を進める。</p> <p>(3)自習室を設置する。また日常的に自宅学習課題を配付するとともに、「定期テスト前のフォローアップ週間」「夏期講習」を計画的に実施する。</p>	<p>①(1)授業時間が確保され、生徒の確かな学力・学習意欲の向上が見られたか。</p> <p>(2)「高大接続テスト」の職員向け研修の実施ができたか。生徒・保護者にタイムリーな情報提供ができたか。また、本校の将来を見据えた新教育課程の基本方針を策定できたか。</p> <p>②(1)始業時の挨拶が定着し、授業中の集中力が高まったか。</p> <p>(2)授業参観を積極的に行い、授業改善を進めることによって生徒の学習意欲向上につながったか。</p> <p>(3)自ら学ぶ姿勢と学習習慣が身に付き主体的に学ぶ生徒が増加したか。</p>
2 生徒指導・ 支援	<p>①生徒の豊かな人間性・社会性を培うために、規範意識を育成するとともに、社会の一員として自他を尊重し、自身の将来像を描く力を育てる。</p> <p>②生活全般の安全意識の向上に向けた取組みを進め様々な課題に対し、解決に向け取り組む意志や実践していく力を育てる。</p> <p>③各種機関・保護者と連携しながら生徒理解を深め、教育相談・支援体制の充実を図る。</p>	<p>①規範意識を高めるとともに、学校行事・部活動を活性化し、自主自律の精神を育てる。</p> <p>②登下校の安全意識、交通安全に対する意識の向上を図る。</p> <p>③教育相談・支援体制を充実させる。</p>	<p>①(1)学校行事を再構築するとともに、部活動の充実をはかる。</p> <p>(2)時間管理の意識を高め、部活動の朝・放課後の練習時間、終了後の下校指導を徹底する。</p> <p>(3)積極的な挨拶に対する意識の向上をはかり、お互いや来校者への挨拶を励行する。</p> <p>②通学経路の安全や服装の指導、「交通安全教室」の内容の見直しを検討する。</p> <p>③(1)「いじめ防止基本方針」及び「同対策マニュアル」に基づき未然防止に向けた取組みを行う。</p> <p>(2)教育相談コーディネーターを中心とした教育相談体制を整備し、スクールカウンセラーや専門機関との連携、各種講演会の開催を通してきめ細かな教育支援を行う。</p>	<p>①(1)学校行事と部活動の達成感と満足感が高い水準にあるか。</p> <p>(2)遅刻数が減少し、登校時刻、最終下校時刻を守ることができたか。</p> <p>(3)校内・校外を問わず積極的でさわやかな挨拶を交わす習慣が身に付いたか。</p> <p>②犯罪被害や交通事故の防止に効果を挙げられたか。</p> <p>③(1)いじめ防止に向けた方針及び取組内容が職員に周知され組織的にいじめに対応できたか。</p> <p>(2)十分な生徒相談・教育支援を行えたか。(ケース会議回数、SC相談件数)</p>

3	進路指導・支援	<p>生徒一人ひとりが自己の生き方、あり方についてとらえることができるよう、計画的・継続的なキャリア教育を推進する。</p>	<p>①総合的な学習の時間、総合的な探究の時間を核にしたキャリア教育を推進し、職業観、勤労観を育成する。</p> <p>②より一層の進路実績の向上を図る。</p>	<p>①(1) 総合的な探究の時間研究指定校として、将来の夢の達成や進路の実現に向け、必要な諸能力を育成することを意識した教育活動の展開に努める。</p> <p>(2) 各学年に対応した進路ガイダンスの充実を図る。</p> <p>②自己の適性や学びの必要性を認識させ、自己の進路実現に向けて、スタディサポートの指標を生かしながら、各教科により自宅で取り組む課題を配付して学習習慣の定着を図る。</p>	<p>①(1) 進路キャリア探究をメインテーマにした総合的な探究の時間の指導計画策定及び使用教材作成ができたか。</p> <p>(2) 生徒が自己の生き方やあり方について考えるのに有効な機会を十分与えられたか。</p> <p>②(1) 生徒が自らの課題を学習につなげ、進路希望実現に向けた主体的な学習活動に取り組めたか。</p> <p>(2) 自宅学習を継続して行う習慣が身に付いたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①開かれた学校づくりを進め、家庭や地域と情報を交換する中で、相互理解と協力体制を確立しさらに進展させる。</p> <p>②HPや「お知らせメール」による、タイムリーな情報発信により地域からの理解を得るよう努める。</p>	<p>①地域や保護者との連携に組織的に取り組み、開かれた学校づくりに努める。</p> <p>②学校の情報を確実に発信し、地域や保護者からの意見要望を参考に、より良い学校づくりを行う。</p>	<p>①(1) 学校へ行こう週間、PTA活動、保護者懇談会、学校行事、部活動等を通して、保護者との連携を図る。</p> <p>(2) 「遊 i n g 西高」をはじめとする地域と連携した取組を学校全体で支援する。</p> <p>②(1) 生徒・保護者への配付物、HPの更新、「西高お知らせメール」などで本校の活動の情報発信を行う。</p> <p>(2) 保護者、地域からの情報や意見等を生かし本校の発展に努める。</p>	<p>①昨年度と比較し諸行事への保護者の参加が増加したか。</p> <p>(2) 「遊 i n g 西高」等地域と連携した取組に参加する生徒・職員のボランティア参加者が増加し、地域参加者や地域支援者の満足度が向上したか。</p> <p>②(1) 本校HP更新回数とアクセス数、および「西高お知らせメール」の登録数が昨年度より上回ったか。</p> <p>(2) 保護者・地域からの情報を生かし改善がなされたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①事故防止の徹底を図るとともに、教職員が前向きに課題に取り組む学校文化を形成する。</p> <p>②生徒の防災意識を高め、安全対策を強化する。</p> <p>③耐震化工事を計画的に進めるとともに、事故防止に努める。</p>	<p>①日常的に事故防止を意識させることで、事故防止の徹底を図る。</p> <p>②生徒の防災意識を高めるとともに大規模災害時の対応について検討・準備をする。</p> <p>③関係機関と十分な連絡調整を行い、耐震化工事を進める体制を整えとともに事故防止につとめる。</p>	<p>①各種校内研修及び事故防止会議において事故防止に向けた意識の向上・啓発を図り、教職員が前向きに課題に取り組む。</p> <p>②生徒の安全、安心の確保に努め、目的を明確にした防災訓練を実施し、生徒及び職員の動きを確認するとともに、より実践的な防災意識を高める。</p> <p>③体育館の耐震化工事を計画的に進める体制を整えとともに事故防止につとめる。</p>	<p>①各種校内研修5回及び事故防止会議10回以上を実施する。</p> <p>②計画通りに防災訓練を実施することができ、生徒及び職員の防災意識は高まったか。また、災害発生時想定される状況に臨機応変に対応できる知識や技術が身に付いたか。</p> <p>③関係機関と連携しながら、体育館の耐震化工事が計画的かつ安全に実施体制を整え、事故防止につとめることができたか。</p>